第11回泉地域審議会発言要旨

委員	事務局
平成21年度主要事業について	
	総務課から市域全般に亘る平成21年度主要事業について説明を行
	なう。
	雇用・景気対策で「雇用対策」「中小企業資金融資制度預託金」「資
	金融資制度信用保証料補給金」「八代市産業活性化利子補給事業」「道
	路維持等事業費の確保」「新増改築住宅等畳助成事業」「八代産材利用
	促進事業」の7点、総合計画「前期基本計画」に基づく重点プロジェ
	クトから「活力ある産業プロジェクト」「人が集まるまちプロジェクト」
	「子どもが健やかに育つプロジェクト」「良好な環境を未来につなぐプ
	ロジェクト」「安心安全なまちプロジェクト」の5点について説明する。
	この他、泉支所における主要事業について各課長から随時説明する。
観光振興について、現在日奈久温泉地区にだけ予算が集中して使わ	確かに現在は日奈久温泉の整備に特出して予算が執行されています
れているようです。観光振興は、市域全体を考えて五家荘地区に対し	が、以前年間30万人が訪れていた日奈久温泉が現在は2万人までに
ても整備に力を入れてほしいと思います。特に隣接する五木村との交	落ち込んでおり、特に今年度が開湯600年に当たる関係で集中して
流、連携を図るべきと考えます。それと観光PRにも力を入れてほし	整備に力を入れています。言われるとおり、八代市の観光振興は五家
いです。マスコミ向けの広報宣伝を充実させるよう考えてほしいです。	荘と日奈久が如何にタイアップしていくかが重要な課題であります。
	市の観光行政がイベントに忙殺されて基本的な観光戦略の練り直しが
	遅れているのが実情であり、今後、市としても総合的な観光振興につ
	いて取り組む必要があり、よかとこ宣伝隊等を効果的に活用しながら

委員	事務局
	進めて行きたいと考えています。 支所産業振興課から補足させていただきます。現在も五木村とは五木五家荘県立自然公園連絡協議会を通じて連携しながら活動を続けておりますので道路問題等も含めて協調した取り組みを実施していきたいと思います。 観光PRの強化については、平成21年度観光協会への補助金が広報費について増額されましたので、今年度、よかとこ宣伝隊と協力して福岡、鹿児島、宮崎方面へのキャンペーン活動を展開する予定でおります。
前回の審議会の中で、各地に見る大学等の教育機関との連携で観光 振興を進めているところがあるので、八代市もそうしたことが出来ないでしょうか。	大学との連携につきましては、八代市は崇城大学と連携協定を結んでおり、いくつか分野で連携協力を実施していますが、観光振興については実施していません。 この他、地元の八代工業高等専門学校との連携も実施しており、今後は、観光振興等の分野でも活用を考えていきたいと思います。

委員

五家荘観光を推進する上で重要なことに、交通アクセスの問題があります。

特に氷川流域から五家荘に入る県道3路線の改良がほとんど手付かずの状態で狭くて運転に自信のない人には大きな不安になっています。

近隣の美里町や五木村と連携しながら県道・国道の改良を推進してほしいと思います。

阿蘇の黒川温泉が賑わいを見せていますが、その大半が女性です。 道路環境の整備が進み、女性でも気軽に行けることがその大きな要因 であろうと思います。

事 務 局

毎年、熊本県に対しての要望活動は実施しておりますが、現在、県が九州新幹線の全線開通を最優先に取り組んでいる状況であり、平成23年度の開通後からは、ある程度の予算確保が望めると思います。

現在、市道五家荘椎葉線を県道に昇格させるための要望活動を宮崎 県椎葉村と促進期成会を組織して実施しており、熊本県の蒲島知事と 宮崎県の東国原知事を峠で握手させようと精力的に関係機関が取り組 んでいます。

県の実情を先ほど申し上げましたが、熊本市が政令市に向けて周辺 自治体との合併協議を進めていますが、政令市に移行した場合は八代 市が県下第一の市になります。そうなれば、また変わった展開が開け てくると考えます。

国道445号について、二本杉~下鶴間の完全二車線化までには20年くらいかかるのではといわれており、これからも県に対する要望活動に力を入れていきます。

新幹線の乗降客を新八代駅から如何にして八代に呼び込むか重要な 課題であり、日奈久、五家荘の連携が鍵になると考えます。

委員	事務局
県道の久連子落合線の改良計画に関して、数年前に改良計画のため	県の八代地域振興局の担当に早急に連絡し、確認を取ってから回答
の測量を実施するとのことで、大変喜んで測量実施の承諾もし、すぐ	させていただきます。
にも工事が始まるものと思っていましたが、一向に始まる気配が無く	
畑の中ほどに当時の測量杭が無残に残っています。	
一部に腐れている物もあり、耕作の邪魔になりますので撤去しても	
よいでしょうか。	
住民自治によるまちづくりについて	
	資料の各種団体との意見交換会における主な意見・回答内容一覧を
	もとに、昨年7月29日から11月12日かけて実施した各種団体(3
	3団体)との意見交換会の中で出た、意見集約の結果を説明します。
	出された意見の中で一番多かったのが、財政支援に関する意見で4
	2件ありました。次に多かったのが組織作り関することで30件、こ
	の他具体的な資料の提示に関する意見が22件、総数で247件の意
	見がよせられました。
	今後のスケジュールについては、現在実施している住民自治推進団
	体連絡会議をうけて、新年度から各種団体への個別説明会を実施し、
	9月を目処に意見集約を図り、市長具申の後、行動計画案を取りまと
	め、パブリックコメントや各地区の地域審議会の意見を求めながら年
	内までに行動計画を策定し、年明けから全校区21地区に対する説明

会を22年度にかけて実施していきます。

委員	事務局
	市長の意向もあり、住民に対する説明に十分な時間をかけて理解を
	深めながら住民自治によるまちづくりを推進していきます。
事前に資料を送ってもらったので、目を通してみましたが、色々な	説明の中でも触れましたが、新年度では地区に直接出向いて個別の
意見があり、住民自治を推進することは大変なことだという認識を改	説明会を開催していきますので、その中で十分な説明を実施していく
めて強くしたところです。	予定です。
住民の理解を得るためには大きなエネルギーが必要であり、まして	この他、小さな単位組織であっても要望があれば説明会に出向いて
やこれを定着させるには長い時間がかかるのではと思います。	いきますので、ご活用ください。
そこで、関係する、特に身近な内容での会議等を増やすとかの対策	この問題は、先進地でも相当な期間とエネルギーを通やしています
が必要と考えます。	ので、市としても時間をかけて粘り強く住民の皆さんの理解を深めな
住民への周知を図るために頻繁に会議なり説明会を開催してほしい	がら実施していきますので、よろしくお願いします。
と思います。	
	事務局からお尋ねしますが、泉校区では住民自治の受け皿となる単
	位組織については、どのようにお考えですか。
具体的なものはまだ持っていませんが、先日、椎原のやまびこ荘で	坂本校区に、8つの地域振興会が組織されておりますが地域によっ
五家荘地域振興会の設立に向けた協議を実施しましたが、その節は地	て幾分温度差があり、住民自治の先行地域とまではいたっていないよ
域振興課の澤田補佐と村上主任さんには説明に来ていただきありがと	うです。
うございました。	
区長会の中での意見としては、現在の地区割りである、4地区か敬	
老会の開催について実行委員会を組織しておりその単位であれば3地	
区になるので、今後の協議の中で具体化していくと思います。	
五家荘地域振興会を来月にも立ち上げて活動を始め、将来は住民自	
治の組織にもって行きたいという希望を持っています。	

委 員	事務局
小さく作って、大きく育てたいと考えています。	期待しています。
自由民自治組織のモデル地区についてどのように考えておられるのかお聞きしたい。候補地はありますか。	候補地はありません。これから地区の動きや内容を見極めて選定していくことになりますが、今の予定では平成23年度中になる模様です。
モデル地区の選定に当たっては、平坦部の大きな組織ばかりではなく、地域性を考慮していただき、泉地区からも選定してほしいと思います。	ただ今の意見は、貴重なご意見として受けたいと思います。
自民自治の推進には、職員のかかわりが不可欠です。協力が得られるのかどうか。	職員の協力体制づくりは職員教育からと考え、これまでも研修を実施していますが、今後も機会を設けて実施していきます。 地区におけるリーダー等の人材育成のために新年度で、4回のセミナーを計画しています。積極的な参加を願いします。
ご意見が出ないようですので、他に事務局より何か連絡事項等ありましたらお願いします、	事務局から、今回の会議をもって第二期の地域審議会が終了します。 皆様方には大変お世話になりました。新年度からは委員数を削減し第 三期の地域審議会が始まりますが、今回も公募による委員さんを募集 しますので、市報の4月号に応募用紙を添えて広報しますのでよろし くお願いします。

委 員	事務局
その他	
	なし。
それでは、特にないようですので、これで第11回泉地域審議会を	
終了します。なお、第二期の地域審議会も本日の会議で最後となりま	
す。委員の皆様方には2年間の任期中、大変お世話になりました。こ	
れからも各分野でのご活躍をお祈りします。お疲れ様でした。	